

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

- 校訓「考える子 たくましい子 思いやりのある子」をもとに、心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざす。
- 人権感覚を身に付け、「ちがいを認め、ともに生きる」児童の育成をめざす。

(2) 経営方針

- 子どもの成長と幸せを最重視していく。
- 現状をよりよく変えていく向上的、前進的な姿勢を大切にしていく。
- 縁あって出会った東小の教職員と子どもたち、この出会いを大切にしていく。

(3) 本年度の重点努力目標

① 確かな学力形成を形成する授業、全員参加の授業をめざす。

教師は、今、子どもたちにさせている学習活動が、この6つの要素のどれにあたるかを意識しながら、子どもたちの学力形成をする授業づくりを進める。そして、よい授業ができたか、そうでなかったかについても、これらの6つの要素がどれだけ行われたかで評価する。学習指導案を作成する際にも、その学習活動が6つの観点のどれにあたるかを明記する。

【学力形成の要素】 授業の目的は、学力を形成することである。学力形成の要素は以下の6つ。

1 「入手・獲得」…新たな知識、技能を入手、獲得する（主に、知識は「入手」、技能は「獲得」）

- ・新出漢字が読める、書ける、意味を理解する ・算数の公式を覚える
- ・長さ、面積、体積の単位を知る ・コンパスの使い方を身に付ける
- ・歴史上の出来事と年号を知る。 ・昆虫の身体の特徴を知る
- ・絵の具を混ぜて色をつくる技法を身に付ける ・楽譜の読み方を知る

※ 義務教育の初等教育である小学校の授業では、思考判断の基礎となる知識、技能を入手、獲得する学習が多いので、この【入手・獲得】が多くなるのは当然のことである。

2 「訂正・修正」…身に付けた知識、技能を吟味し、間違いや不備に気づき、訂正、修正する

- ・自分の考えの間違いを知り、改める
- ・間違っていた知識について正しい知識を知る

※ 教師が児童の考えの誤りを指摘し正しい解を示すことも、確かな学力を形成するうえで大切なことである。また、話し合いや、タブレットでの意見交流を通して、友達の考えに触れ、自分の考えを深めたり、広げたり、改めたりする場面においても、学力の修正・訂正がなされる。

3 「深化・統合」…それらの知識、技能に磨きをかけ、深化、統合する

- ・これまで知っていたことについて、さらに深く理解する
- ・断片的に理解していた事柄のつながりを理解し、まとめられる
- ・グループや学級で意見交流することで、自分の考えが広がる、深まる

4 「反復・定着」…学力や技能を確かなものにするために反復し、定着させる

- ・漢字ドリル、教科書で何度も目にして、漢字が読めるようになる
- ・九九の暗唱を練習し、スラスラ言えるようになる
- ・計算ドリルの学習で四則演算が早く正確にできるようになる

5 「上達・向上」…身に付けた技能が練習、経験により、上達・向上する

- ・音読を繰り返すことで、上手く読めるようになる
- ・鉄棒の逆上がりを何度も練習して、滑らかにできるようになる
- ・リコーダーの練習を繰り返し、美しい演奏ができるようになる
- ・スピーチの経験を重ねることによって、相手に伝わりやすい話し方ができるようになる

6 「活用・応用」…身に付けた知識や技能を活用、応用する

- ・複数の教科で獲得した既習の知識を活用し、総合的な課題について考える
- ・既習の解法を駆使して、難易度の高い問題を解く
- ・マット運動で身に付けた技を生かして組み合わせ、自分で工夫した技を成功させる
- ・自分で行った実験・観察と ICT を活用して獲得した情報を結び付けてレポートにまとめる

② 心と言葉を大切にすることを育てる。

心と言葉は不可分のものである。言葉遣いは、心遣いでもある。挨拶、返事、言葉遣い、生活習慣、家族や友達、身の回りの人たちとの人間関係等、子どもたちが、美しい言葉と望ましい作法を身につけることができるように働きかけ、心と言葉を大切にすることを育てる。

- ・ 音読・道徳教科書『日本の美しい言葉と作法』の活用（こちらは継続）
- ・ 東っこ宣言の設定と定着に向けて（「生活のスタンダード」「行動指針」的な位置づけとして、子どもたちの目につくところに掲示し、機会をとらえて読ませる等して、定着させたい。）

「東っ子の約束」

- 一 人の話は、しっかり聞きます。
- 二 心を込めて、挨拶、返事をします。
- 三 「ありがとう」「ごめんなさい」をきちんと言います。
- 四 自分も、みんなも、大切にします。
- 五 自分のため、みんなのために、行動します。
- 六 人の嫌がることをしません、言いません。

ここに掲げた六つを、子どもたち一人一人が心がけて行動することができれば、明るく、健やかな学校生活を送れるようになるだろう。そして、この六つは、子どもの間だけでなく、子どもたちが大人になってからも、身に付けていたいものであり、人間の成長や幸福につながるものと思われる。東小学校で小学校生活を送る6年間で、この東っこ宣言を子どもたちの心に定着させ、子どもたちの生活や行動の基盤とすることができたら…と願う。

授業や学校生活の中で、子どもたちの言動を褒める場面、叱る場面、諭す場面、励ます場面等にも、この六つの言葉（内容）と関連付けながら指導することによって、意識させ、子どもたちの生活（言動）のスタンダードとして定着させていきたい。そうすることが、子どもたちの成長、望ましい言葉と作法の習得、良好な人間関係等に繋がり、子どもたちが幸福な人生を送る基盤となるであろう。

(4) 令和8年度からの新たな取組、変更等

- ・ 給食後の歯磨きを行う。（R9・10年度 日本歯科医師会 生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業）
- ・ 朝の過ごし方を変更する。（月2回の朝礼、8:20着席～朝読書、「言葉と作法」音読等）

以上の取り組みを通して、

子どもたちも、保護者や地域のみなさんも、先生方も『みんな笑顔の 東「笑」学校』をめざす。